

2022（令和4）年度

三草山ゼフィルスの森 保全事業計画

2022（令和4）年5月

三草山ゼフィルスの森保全検討会議

2022(令和4)年度 三草山ゼフィルスの森 保全事業計画

今年度も、ゼフィルス類やヒョウモンチョウ類などのチョウ類を生物指標として、生物多様性豊かな里山林の順応的植生管理を行う。

1 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（継続）

2回程度の検討会議の開催を予定する。

2 保全作業【森の更新・管理など】

(1) 上杉進入路補修（継続）

前年度に実施した上杉進入路の補修により、運搬車や車の通行が可能となった。しかし、現状では一部で土壌がぬかるむ場所もあるため、追加で表面を安定させる工事を実施する。

(2) 広葉樹苗木育成（再開）

麓の棚田で育成していたクヌギ・コナラ・ナラガシワなどの苗木の大部分は、2017年度末までにゼフィルスの森へ植樹を行った。今後伐採地や山腹崩壊地等に植樹することを目標に、今年度は苗木づくりの計画立案と秋のドングリ採取を行う。苗木作成に際しては、ささゆり学園（能勢町立小中一貫校）に協力を求める。

(3) ボランティア定例保全活動（継続）

例年通り、ボランティア定例活動で行われる次の団体に対して、支援を行う。

対象団体：

①能勢みどりすとクラブ

支援内容：活動への助成

②能勢の里山を繋ぐ会

支援内容：活動地と施設等の提供

活動内容：

①防火帯刈払い（ゼフィルスの森外周）

②防鹿柵内坪刈り

③芽かき

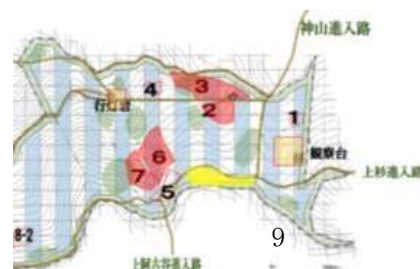
④神山進入路補修（石畳づくり）




⑤登山道・林内整備、防鹿柵メンテナンス

⑥萌芽更新施業（ほだ木、薪づくり）

⑦針葉樹林整備

⑧タガメの田づくり活動地保全活動（草刈り・苗木管理など）



	防鹿柵 2・3・6・7 内 刈払い実施 (1.32ha)
	防鹿柵 9 内 芽かき (0.25ha)
	針葉樹林整備 (0.2ha)

(4) 山腹崩壊修復地の植生再生方法の検討（継続）

2018年度に発生した大規模な山腹崩壊地の植生回復状況についてモニタリングを実施する。あわせて大阪府が行う工事終了後の植生再生方法について検討する。

3 調査など

(1) ゼフィルス類等チョウ類の生息状況調査（継続）

・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査

日本鱗翅学会近畿支部・大阪公立大学と連携し、6月中旬（6月11日予定）に実施する。

(2) 防鹿柵の防除効果調査（継続）

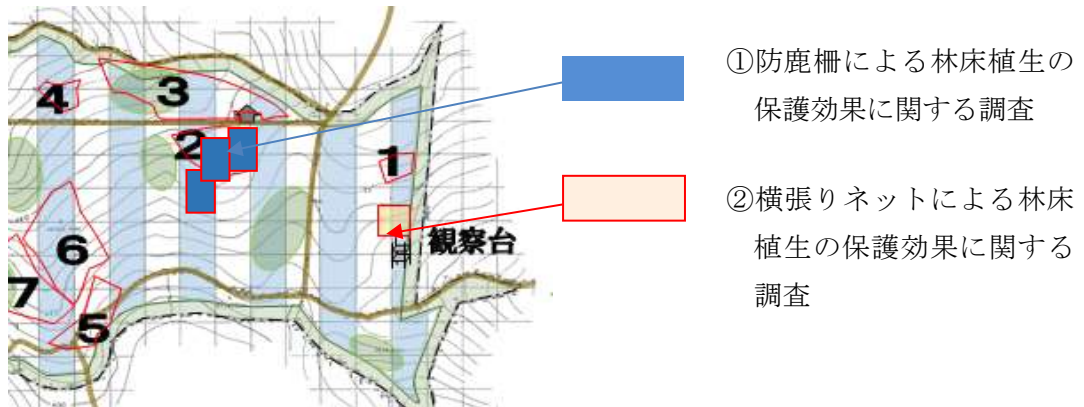
大阪公立大学藤原宣夫教授による、以下の調査を支援する。

①防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査

2015年から実施している15m×15mの防鹿柵内2カ所、および柵外1カ所で、林床植生の保護効果を評価する。

②横張りネットによる林床植生の保護効果に関する調査（継続）

防鹿柵を地面から斜めに張り、林床植生の保護効果を評価する。横張りネットの調査は今年度で最終とし、調査結果を基に本格的に導入するか結論を出す。



(3) タガメの田づくり活動地水生昆虫調査（継続）

大阪公立大学竹内剛客員研究員によるタガメの田づくり活動地における里山里地の一体的保全の効果を測定するための水生昆虫調査を支援する。前年度は11月に実施したためタガメは確認できなかったが、今年度はタガメの成虫が確認できる秋に実施する。

(4) タガメの田づくり活動地耕作放棄地での水田再生の研究（継続）

大阪公立大学築瀬雅則助教によるタガメの田づくり活動地における水田再生の研究を支援する。

4 普及啓発

(1) 観察会などの開催（継続・一部新規）

6月19日 ゼフィルス観察会

11月末 能勢の里ハイキング

例年実施しているゼフィルス観察会に加えて今年度は、生物多様性やゼフィルスの森を知らない方を対象に、長谷の棚田や才の神峠といった能勢の歴史を体感できる内容のハイキングを実施し、自然環境豊かなゼフィルスの森の保全に興味を持つ機会をつくる。

(2) 案内看板の維持管理（再開）

現在設置している看板の現状を把握し、老朽化しているものや情報が古くなった看板を撤去・交換・更新する計画を作成し実行する。看板更新については企業からの支援を受けて実施する。

(3) 三草山における環境教育（継続・一部新規）

①環境教育プログラムの検討

三草山ゼフィルスの森を題材にした子ども向け環境教育プログラム実施の可能性について、専門家の協力を得て検討する。

②近隣の学校による実践

ささゆり学園（能勢町立小中一貫校）、関西大学第一中学校などが三草山ゼフィルスの森やタガメの田づくり活動地を利用して実施する環境教育に協力する。

(4) タガメの田づくりイベント

三草山のふもとのタガメの田づくり活動地で3回のイベントを実施する。イベント参加者に対して、ゼフィルスの森の紹介をし、森と水田などふたつの環境が必要な動物などの例を挙げながら里地里山一体で保全活動の必要性を伝える。

(5) 勉強会・意見交換会

有識者や地元の方々を交え、三草山ゼフィルスの森の生物多様性の勉強会を行い、三草山の活用について意見交換を行う機会を設ける。

5 その他

(1) 巡回活動（継続）

地元住民（4名）に委嘱し、巡回活動を実施する。

(2) 地上権料支払（継続）

新たに結んだ契約をもとに、地権者に対して地上権料を支払う。

以上